

秋田県精神保健福祉士協会情報誌

ゆい

第15号 発行日：平成31年3月31日

【発行】

秋田県精神保健福祉士協会

【事務局】

医療法人三愛会 秋田東病院

TEL：018-827-2331

FAX：018-827-2330

【編集】 広報出版委員



— 巻頭言 —



秋田県精神保健福祉士協会
会長 根田 悠士

昨年6月に会長に就任して、早くも今年度が終わろうとしています。

役員体制、事務局等も新体制となり、会の運営においては不慣れなことも多く、皆様にはご迷惑をかけているところもあるかと思えます。皆様にはこの場を借りて感謝を伝えたいと思います。

今回情報誌「ゆい」で皆様に発信する機会をいただき、私自身のためにも今年度を振り返りたいと思いました。協会の運営をしていく中で、私が大切にしていることは、①加藤前会長（現顧問）が構築してくれた組織基盤をもとに②本当の意味での「顔の見える関係」を作ること。あとは、③若い構成員、秋田市以外の構成員を意識すること。④協会に入っているメリットを分かりやすく伝えることを意識しているつもりです。

①に関しては、新体制となる前から進めていた「現況届」について今年中に皆様に発信し、会員の皆様の状況の把握に努めてまいります。②～④については、役員の皆様とも話し合い、県北・中央・県南で研修会を開催すること。研修内容は「事例検討」を主とすること、さらになるべく「懇親会」を設けることとして、県内を回りました。研修会では、中堅の構成員にファシリテーターを担ってもら

い、若手の構成員にグループの発表を行ってもらいました。また、やっぱり秋田は「飲み会」大事だと思います。私自身3か所の研修すべてに参加させてもらい、各地域でのローカルルールを勉強し、法人を飛び越えたネットワークに驚き、新しい出会いにやる気をもたらうことができました。この地域ごとの活動は続けていく予定でありますし、来年度はもう少しテーマを絞った研修（スクールソーシャルワーク、就労、成年後見、権利擁護、U-30研修）も考えていきたいと思っています。

*（）内のビジョンは私の頭の中だけのものです。

最後に、私事ですが私が会長と事務局を受けたばかりに、若干仕事が増えてしまった私が所属する秋田東病院の鈴木捺帆、高山和、村上華恵の3名の精神保健福祉士にこの場を借りて感謝をさせていただき、また構成員の皆様には協会の運営等について今後ともご指導、ご協力をお願いしてあいさつと代えさせていただきます。



開催報告 県北・中央・県南研修会

今年度から、県内を3分割し県北・中央・県南として研修会を開催する試みをスタートしました。顔の見える関係をテーマに、まずは地域の精神保健福祉士同士、同じ悩みや困難な事例などお互い会うことで、よりつながりが強くなるように今後も計画をしていきます。まずは、今年度の各地区の研修会内容を報告します。

県北エリア



平成30年10月6日（土）に県北研修会を開催しました。北秋田市交流センター2階第2研修室において10名の参加で県北地区研修会を開催しました。エリア別研修会はこれまでなかなか実現できませんでしたが、新たな試みとして開催したところ、県北地区の精神保健福祉士の皆さんに参集いただき活発な意見交換や地区特有の精神保健福祉諸問題を情報交換することができました。

参加者の声として能代市、北秋田市の医療機関や就労継続支援事業所などから10名の参加者が集い、中央で行われる研修会に比較すると少人数でしたが、3件の事例を持ち寄ってグループワークを行いました。①軽犯罪累犯障害者の転院支援②発達障害のある方の生活訓練および就労支援③祈祷師が人工透析患者の治療妨害行為に及んだため、病院側の取った対策これらについて率直な意見交換が行われ、自分の担当した事例について他の精神保健福祉士から、支援を行った理由、別の方法などの質問に答えて言語化することで、当時の支援目的や理由が明確になり、よりよい方法を再考するきっかけになりました。

特に事例③については、「人工透析を中断させることは生命維持に重大な影響を及ぼす」として刑事事件となる可能性も視野に入れて支援を進めていたことが印象的でした。信仰の自由が関連するデリケートな事例でしたが、医療機関同士の連携だけでなく弁護士や警察との相談を踏まえての対応に感嘆いたしました。

他の医療機関や事業所で勤務している精神保健福祉士の業務内容やモチベーションなどについても情報交換ができて貴重な学びの機会となりました。地理的に近いところで研修会に参加できるのは大変感謝しております。
（北秋田市民病院 藤田裕太郎）

中央エリア



平成30年10月27日に秋田市文化会館にて中央地区の研修会が開催されました。県北地区に続き2回目となった研修会には、地区内外の病院や施設から17名の参加があり、4つのグループに分かれて事例検討を行いました。私が参加したグループでは当方から事例を提供させていただきました。今回は、ごみ屋敷状態の家で一人暮らしをされており、警察の介入によって入院された家族関係が希薄な患者様で、家族間でも患者様の病気に対する理解に相違のある方の退院支援について意見をいただきました。自分は本人と家族への対応や、他機関との連携の仕方等を中心に考えていましたが、患者様が住んでいた家を見に行けば、入院中には見えない本人の行動や生活の仕方が見えてくるのではないかと意見を聞き、自分の思考や視野の狭さに改めて気づかされました。

精神保健福祉士として働き始めてまだ間もない私にとって、経験豊富な諸先輩方の意見は大変勉強になりました。正解のない仕事であるが故に悩むことも多いですが、今後もこういった機会にたくさんの方の意見を吸収していきたいと思っております。
(秋田東病院 高山 和)

県南エリア



平成30年11月17日(土)に横手市朝倉公民館/あさくら館において参加者は27名で、中央地区からの参加者もおりました。

研修の前に、根田会長から日本協会の動きについての報告があり、研修は5~6人のグループで事例検討を行いました。同じ専門職であっても、勤務している機関が違えばそれぞれ異なる視点や捉え方があり、各個人の意見は自分自身にとって新しい発見でした。私の参加したグループで、「自己決定」という言葉がたびたび聞かれ、新鮮に感じた一方で、毎日の業務をひたすらこなしている中で精神保健福祉士の基本でもあろう言葉が新鮮に感じられることに自分自身の改善点も見出せたように感じました。同じ職場の人同士では話することができないような、それぞれの支援の基本、地域のルールやいろいろな職場での精神保健福祉士の立ち位置の違い等も知ることができ、充実した時間を過ごすことができました。また研修後の懇親会も盛り上がり、研修とは違った意味での多種多様な情報共有ができ、いろいろな意味でその後の業務にもつながると感じました。

今回研修に参加したことで、得たことはたくさんあるため、今後もこのような研修会をぜひ開催していただければと思います。貴重な時間をありがとうございました。

(横手興生病院 依田 英子)

「生涯研修制度」委託事業基幹研修Ⅰ in青森県八戸市

専門職として生涯に渡って続けられる研鑽として、日本精神保健福祉士協会の生涯研修制度「基幹研修Ⅰ」が平成30年9月29・30日と青森県八戸市で開催されました。この研修は北東北3県（青森・岩手・秋田）の共同で開催しております。

研修受講者は20名、秋田県からは3名の方が参加されていました。また秋田県からの講師として、加藤病院の伊藤健正さんが「日本精神保健福祉士協会の役割と課題」をテーマに講義を行っています。始めは緊張した表情で参加された方も2日目の演習が終わるころには連帯感もでき、実践の中で感じているかかわりや葛藤を自分の言葉で一人一人が表現していました。組織の中での自分、PSWとしての自分に戸惑うことがありながらも大切にしていきたいことをグループと全体発表で共有することができていました。参加された方々の経験年数は0年～12年、年齢は22才～67才と幅がありましたが、休憩時間や懇親会では自然に普段の業務についてお互い話し合う雰囲気生まれたようでした。研修参加者の感想では、自分を見つめ直すきっかけになった、他の人も同じような悩みを抱えていることを実感できた、県内、県外のPSWの方と交流・意見交換できた、日々の業務を見つめ直す機会になった。などの感想が聞かれています。

何度か基幹研修Ⅰの協力員として参加していますが、毎回参加される方々を見ていて自分も頑張ろうと思わせる2日間でした。まだ研修を受けていないという方も今後気軽に参加されてみてはいかがでしょうか。
杉山病院 伊藤 尊之

第2回定例会・研修会

平成31年2月2日（土）秋田市文化会館にて27名参加で本年度2回目の定例会・研修会を開催しました。研修会では秋田県障害福祉課より小田翔哉主事をお招きし「秋田DPATについて」と題して、秋田県における災害時精神医療に関してご講演をいただきました。また協会員である秋田県立リハビリテーション・精神医療センターの船木聡さんからは「DPATの活動状況～北海道派遣を振り返る～」と題し、先の北海道胆振地方地震時に派遣された経験を披露していただきました。

参加者からの感想：当院も秋田DPAT指定病院の一つとなっており、DPATチームの運用に携わるメンバーは各種研修参加をしているものの、私自身、DPATに関しては「災害派遣精神医療チーム」であるということ以外把握できていなかった。今回の研修を通して、DPATチームの編成・役割、災害発生時の活動内容、具体的な支援方法等を詳しく学ぶことができた。中でもEMIS（広域災害救急医療情報システム）については新しく知った情報であり、平時からその理解を深めておく必要があると感じた。各医療機関が適切にEMISを入力することで、災害医療チーム側で被災状況確認が可能となり、チームが活動する際の判断材料になる。被災時に支援を受ける医療機関側としては、大規模災害を想定した上で、職員全員がEMIS操作担当者を把握しておくことや、操作できる担当者を複数名確保しておくことが求められるため、職員間で周知を図りたいと考えた。他にも、院内の備蓄状況の確認、災害発生時のマニュアル整備など、有事に備えた体制作りが重要であると再認識することができた。今回の研修で学んだ内容を、医療機関所属の精神保健福祉士として、院内における防災体制の確立に活かしていきたいと考えている。

秋田緑ヶ丘病院 佐々木 葵



定例会の様子



研修会の様子

「全国災害対策委員講習会に参加して」

秋田東病院 鈴木 捺帆

精神保健福祉士協会秋田県支部の皆さまこんにちは。秋田東病院相談室の鈴木です。2月2日の定例会では昨年11月18日に災害対策委員として参加させていただいた全国災害対策委員講習会の復命発表をさせていただきました。

内容としては講習会を通して知った災害対策委員の役割や今後災害対策委員として取り組まなければならない事を中心にお話しさせていただきました。また、実際に災害が起きた時に「顔の見えない関係」の災害対策委員と連携を…と言ってもなかなか円滑にいかないのではないか、まずは私達災害対策委員の顔を覚えてもらいたいというのが最大の目的

でした。現在、秋田県支部では災害対策委員長を障害者総合支援事業所松風の柴田聡さん、相談支援センターアシストの平川聖子さんと私の3人体勢で活動しています。柴田さんにはこの春から秋田県支部災害対策委員長を務めていただくこととなりました。「顔の見える」災害対策委員を目指して活動していきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

直近の活動としては災害対策計画の策定に向け2月23日に根田会長も含め話し合いを行いました。次回の総会までには本協会の事務局への提出が出来たことを皆様にお伝えできればと思います。

日本精神保健福祉士協会の動向について

北海道・東北ブロック会議についてご報告

日本協会秋田県支部代議員：秋田大学医学部附属病院 金子 幸太

2018年度2回目の北海道東北ブロック会議に参加してまいりましたので、報告いたします。会議の詳細については、来年度の総会等でお話をさせていただきますので、今回は目立ったものを3点のみ報告いたします。

まず1点目は、日本協会の組織率向上についてです。日本協会では会費の割引制度を利用し、会員の増加を進めていくものです。若年者、経験の浅い方、県協会に所属して日本協会に入っていない方が対象です。2点目は、精神保健福祉士の英語表記についてです、日本協会ではMHSW（メンタルヘルス

mental health）にすべく協議を進めております。これは、英語圏ではMHSWが一般的で、PSWが伝わりにくいことからのようです。3点目は、児童相談所における問題が取り上げられている中で、児童相談所等への精神保健福祉士の配置について日本協会として要望を出しています。（県協会としてソーシャルアクションを起こしてほしいとの連絡も来ています。）以上大変簡単ではありますが、報告をさせていただきました。興味のある方は事務局にお問い合わせください。

～ 事務局からのお知らせ ～

平成31年度総会ご案内

平成31年度秋田県精神保健福祉士協会並びに公益社団法人日本精神保健福祉士協会秋田県支部の総会が、令和元年6月1日（土）開催予定です。詳細な日時及び場所等が決まりましたら追って各事業所へご案内します。



メーリングリスト稼働中です

秋田県精神保健福祉士協会では、公益社団法人日本精神保健福祉士協会の最新情報や国の施策等、協会関連の情報を敏速に会員の皆様へお伝えする情報発信として登録者へ一斉メールとして提供しております。

以前登録された所属メールではなく、個人用メールへの変更も可能です。変更がありましたら、ホームページに記載してあります事務局までご連絡下さい。

年会費納入のご案内

当協会は、日本協会への入会で年会費が免除となっております。日本協会へ入退会した方は年会費の徴収有無が発生しますので、総務委員へご連絡ください。

- 金額：3,000円（尚、日本精神保健福祉士協会入会の方は、秋田県精神保健福祉士協会年会費3,000円が免除となります）
- 納入方法：通帳にて確認を行いますので、個人名で指定の通帳へ納入下さい。その際の振込手数料はご負担下さい。また、複数名で振り込む際は、事前に会計委員へ必ずご連絡下さい。 ☎018-846-5328（指定相談支援事業所クローバー）
- 振込先：秋田銀行 支店名：大久保支店 店番：181 □座番号：362118
□座：普通 名義：秋田県精神保健福祉士協会

会員登録事項の変更がございましたら、お手数ですが事務局までご連絡ください。

【事務局 秋田東病院】TEL：018-827-2331 E-MAIL：akitapsw@yahoo.co.jp

お願い

現況届の提出について

会員皆様の情報把握につきまして、先日所属宛に現況届を送らせていただきました。下記提出先へFAXか郵送で、**平成31年4月30日**までお願い致します。尚、提出がない場合は、当協会にて把握している所属先等へ問い合わせていただく場合がありますことをご了承願います。

〒011-0911 秋田県秋田市飯島字堀川84番地 秋田緑ヶ丘病院
秋田県精神保健福祉士協会 総務担当 渡部

TEL 018-845-2161
FAX 018-846-6942

右のQRコードを読み込んで頂ければ、ホームページへアクセスできます。なお、会員情報にはパスワードが必要のため、忘れた際は事務局までお問い合わせ下さい。

